

大分西部森林管理署交渉（全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会）
議 事 要 旨

1 日 時 平成27年11月9日（月）16：15～17：15（60分）

2 場 所 大分西部森林管理署会議室

3 出席者 大分西部森林管理署 秋山 郁男 署長
田代 今朝広 次長
古澤 竜喜 総括事務管理官（3名）

全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会
山本 純也 委員長
秋吉 新二 副委員長
穴井 隆文 副委員長
中山 俊和 書記長
橋本 暁寛 執行委員（5名）

4 交渉事項

- (1) 労働安全及び健康管理対策の充実について
- (2) 職員の労働負担軽減等の改善要求について
- (3) 宿舎の問題について
- (4) その他

5 議事概要

(1) 労働安全及び健康管理対策の充実について

組合) 安全対策についてどのように考えているか。
また、若手職員への安全に関する指導をどのように考えているか。

当局) 安全の確保については、人命尊重の上から極めて重要であり、事業の円滑な運営の面からも不可欠と考えている。
今後も健康安全協議会等安全に関する各種活動に積極的に取り組むなど安全管理者等を中心に、職員一丸となって安全活動を推進して参りたい。

組合) 職員の健康管理についてどのように考えているか。

当局) 職員が明るく仕事をしていくためには心とからだの健康が何よりも重要と考えている。アンテナを高くし、気配り・目配りを欠かさぬよう努めて参りたい。

組合) 林道通行時の安全確保の観点から一斉点検を検討すべきではないか。

当局) 今年度は健康安全協議会の意見等も踏まえ、安全点検時に林道点検を行うなど取り組んできたところであるが、一斉点検も含めてどのような形態が効果的か検討し安全確保に努めて参りたい。

(2) 職員の労働負担軽減の改善要求について

組合) 昨年度は当署管内で請負事業者の災害が2件発生したが、事業への影響もあり職員への負担が増加している。その後どのような取組を行っているのか。

当局) 労働基準監督署との合同パトロール、昨年11月及び今年6月の現地指

導、契約時の指導、業界団体の安全パトロールへの参加等を実施してきたところであり、今後とも様々な機会を捉えて積極的に事業体に対する安全指導を行って災害防止に努め、職員の労働負担軽減に努めて参りたい。

組合) 当署の素材生産請負事業については、職員の労働負担軽減の目的で管理者や総括が担当者として貼り付けられているが、監督員との連携等どのようなになっているのか。

当局) 監督員や事務担当者への声かけ等を心がけ、実行箇所の担当者が問題に直面したときに的確に指導やアドバイスを行って労働負担軽減に努めて参りたい。

(3) 宿舎の問題について

組合) 宿舎削減計画で入居可能宿舎が大幅に減少したが、転入者等の宿舎希望者が円滑に宿舎を確保できるよう努めて欲しい。

当局) 今後、転入者等で希望者が宿舎に入居できない場合は、民間住宅の情報提供等適切に努めて参りたい

組合) 宿舎の廃止等により今年度から他省庁の宿舎へ入居する者が増加したが、修繕等の対応が円滑にできるのか不安であるので、不安解消に努めて欲しい。

当局) 宿舎の維持管理機関と連携を密にして不安解消に努めて参りたい。

(4) その他

組合) 年次有給休暇の取得促進及び超過勤務の縮減についてのどのように考えているか。また、年休の完全取得、実行ある超勤の縮減対策、休日勤務の確実な振替、勤務時間管理の徹底を図って欲しい。

当局) 年次休暇取得促進、超過勤務の縮減、労働時間の短縮については、職員の心身の健康保持と、ゆとりある生活の実現等の観点から重要なことと認識しているところである。

引き続き目配り・気配りを行いながら年次有給休暇の取得促進及び超過勤務の縮減等に努めて参りたい。

—以上—